

贈呈理由 高効率ヒートポンプと蓄熱システムの導入により、大幅な省エネを実現



いきいきケアホーム住吉



業務用エコキュート



エコ・アイス (個別分散)

いきいきケアホーム住吉は利用権方式の住宅型老人ホームで、地上3階40室の「フォレストコート」と地上3階48室の「フラワーコート」(全室個室)が併設されている。これらの施設を運営する有限会社ラポール・ケア米子は、「終(つい)のすみかとして上質かつ快適な居住空間であること」、「入居者の意思が尊重された生活を送れる居住空間であること」という2つのコンセプトを基に、利用者が常に安全・安心を感じて暮らせる設計・設備・インテリア・サービスすべてにこだわっている。

自宅感覚でくつろげる空間

ダイニングルームは入居者とともに訪問した家族もリラックスでき、安心して過ごせるように、落ち着いた高級感のある照明機器やクロス、テーブルにIHクッキングヒーターを組み込んだシステムキッチンを設置、自宅感覚で使用することができる。また、「入居後も地域とのつながりを大切にもらい

たい」との考えからカフェが併設されており、家族・友人などとくつろぎの時間を楽しむことができるなど、好評を得ている。

訪問介護、訪問看護、通所介護、訪問リハビリなど、入居者の希望にあった介護保険サービスも利用でき、介護に不安があったり日常生活に困難が予想される場合や、重度要介護状態の入居希望者も安心・安全な生活を送ることができる。

なお、同社はメディカル・ケア米子グループで高齢者住宅事業部門を担当、同施設以外に3つの施設を運営している。同グループはこのほか、訪問看護事業、訪問介護事業、通所介護事業、居宅介護事業を展開している。

夜間電力利用などで入居者の負担軽減を図る

上質かつ快適で安全・安心な居住空間を提供するため、光熱費の抑制による入居者の負担軽減および環境へのやさしさを考慮した結果、給湯にはエコ

キュート、空調には電動ヒートポンプ(個別分散)とエコ・アイス(個別分散)、厨房には電化厨房を採用した。これらのシステムの採用は施設全体の安全性向上にも貢献している。

エコキュートは用途別(浴槽用、厨房用)に貯湯量と配置場所の最適化を図り、電力使用の夜間シフトや厨房電化によって光熱費が抑えられ、入居者の料金負担軽減することができた。

ラポール・ケア米子はほかの施設でもエコキュートを採用し、光熱費低減のみならず環境負荷低減を図り、入居者がいきいきと輝く笑顔で生活できる最高の住まいを追求している。

いきいきケアホーム住吉

所在地:鳥取県米子市彦名町8-1
建築設計・施工:美保テクノス(株)
蓄熱設備設計・施工:美保テクノス(株)
延床面積:3,400.16㎡
竣工年:2011年(新設)

●蓄熱設備概要

エコ・アイス(個別分散) 12馬力相当×1台(ダイキン工業) 蓄熱槽:1.2㎡
業務用エコキュート 15kW×6台(日立アプライアンス) 貯湯槽:8.4㎡